

いきなりRAW現像

PhotoshopCC2015付属
CameraRaw9 活用解説書・第3版

(本文書は、要約版です)

JTC 舞アートフォト
伊藤ひかる 著

日本図書コード管理センター ISBNコード 978-4-906836-05-5

ようこそ、いきなりRAW現像ワールドへ

かつて筆者がカメラの色味に疑問を持ち始め、これを写真の先輩に相談したところ、RAWで撮ってRAW現像するよう薦められました。しかし、RAWは大変に難しそう、手間が掛かると思ってRAWを避けていました。

ある時、JPEG画像をPhotoshopで補正するのではどうしてもいい色にならならず困惑しました（左の写真）。後の撮影からはRAWで撮り手探りでRAW現像してみると、同じようなシーンであるにもかかわらず、活き活きした色味の写真になったのです（右の写真）。まさに先輩のお薦め通りでした。ということから早急にRAWに切り替えるべく勉強しましたが、適切な解説書が無く、マスターするに半年以上も要していました。

写真を愛する皆さんには是非ともRAW現像して欲しいと願うのですが、それには良い解説書が必要との思いから「いきなりRAW現像」を3年前に作った次第です。以来、RAW現像ソフトCameraRawのバージョンの更新と共に今回で第3版目となりました。

本解説書をお読みいただければ、RAW現像は難しくもなく、手間も掛かるのではないと必ずご理解いただけると思います。今、CameraRawが程良く成熟し使い易くなっていますので、覚えるに丁度良い機会でしょう。

(JPEG画像)



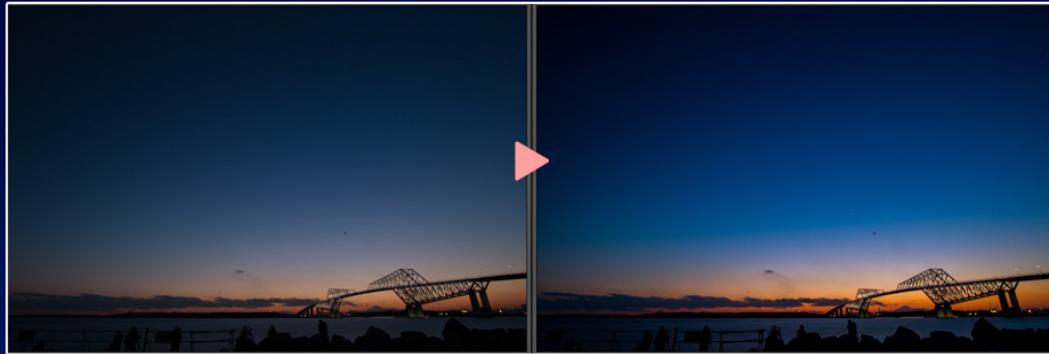
(RAW画像)



(インド舞踊家・堀友紀子氏の舞台公演より)

第2章 いきなりRAW現像（やってるみる+秘法の紹介）

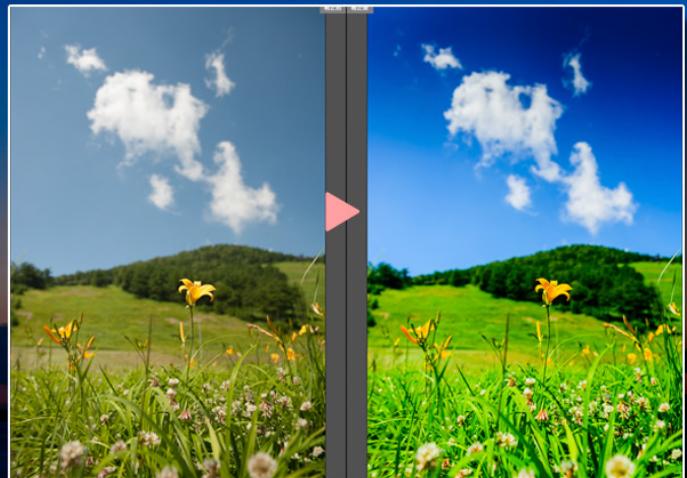
いきなり、極く簡単なRAW現像をしてみます



RAW現像済みの画像をRAW現像無しにします



秘法・逆順RAW現像法を使えば色味決めは簡単



逆順RAW現像法・練習1・夜景をキレイに



（空白部分を埋める方法は別途に説明）

第2章 いきなりRAW現像（やってるみる+秘法の紹介）

逆順RAW現像法・練習2・微妙な色味も決めてみる



逆順RAW現像法・練習3・水銀灯下でも華やかに

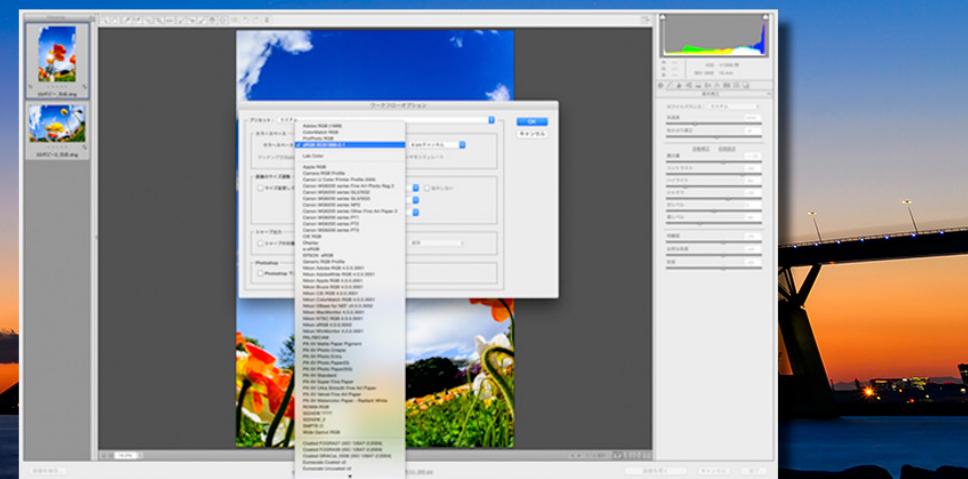


第3章 Bridgeの使い方、その他予め知っておいて欲しいこと

BridgeあればこそそのCameraRawですが、少々難しいので、これを詳しく説明します。

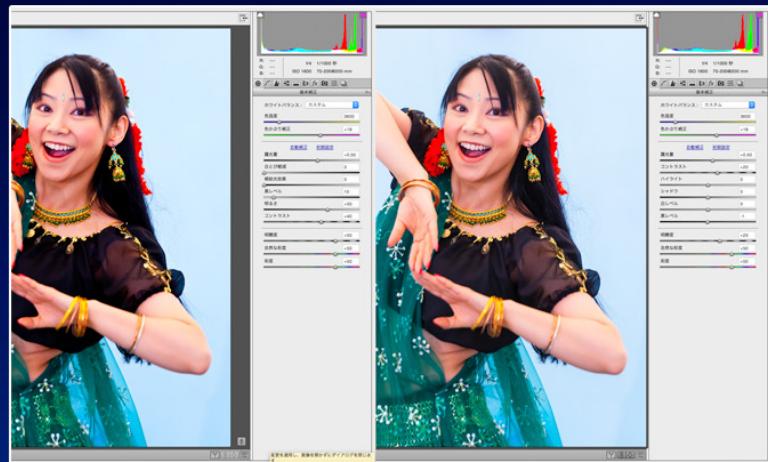


RAWからJPEGへの出力方法です。
ここでは、取り敢えず2種類。

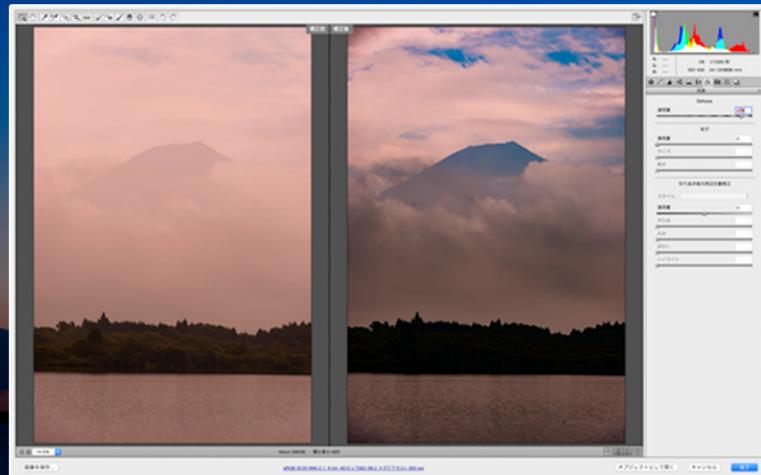


第3章 Bridgeの使い方、その他予め知っておいて欲しいこと

旧版と最新版の相違点・メニュー変更



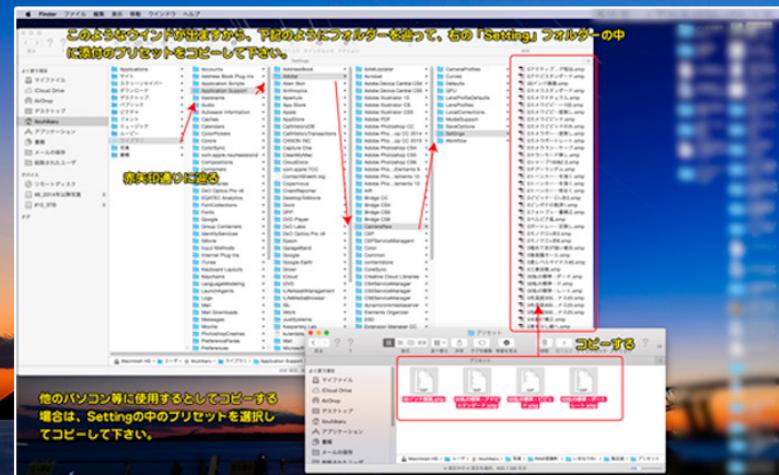
CameraRaw9.1の新機能は、かすみ除去



旧版と最新版の相違点・円形フィルター等の機能



プリセットの読み込み方法について



第4章 メニューの構成

メニュー構成はまるでゲームのよう



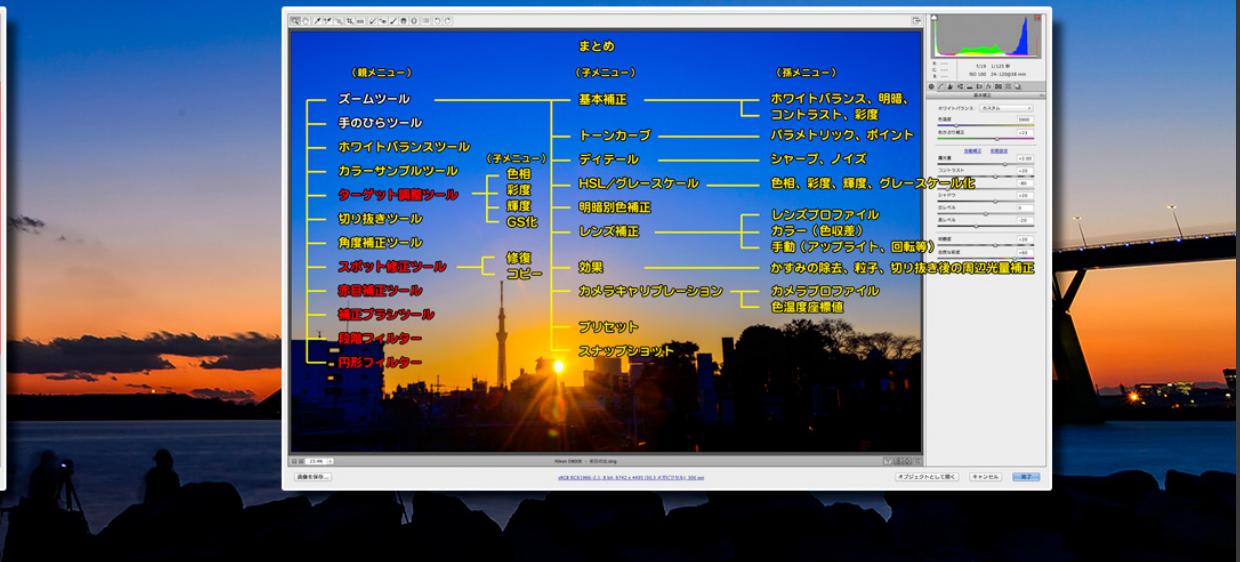
試行錯誤を繰り返さぬよう丁寧に説明



CameraRawの概要説明にもなっています

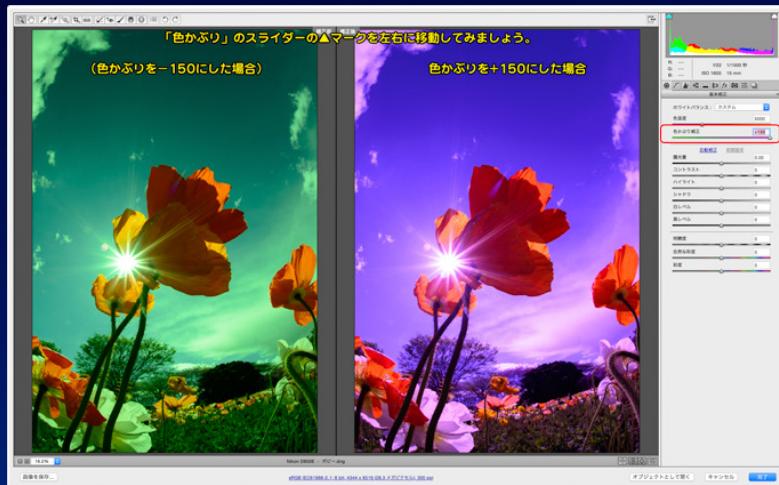


少し知っている方ならこれだけで充分



第5章 RAW現像機能の詳細（全140ページ）

色味を変更する方法



明暗調整の方法



傾きの調整方法



モノクロ写真の作り方



第5章 RAW現像機能の詳細（全140ページ）

撮像素子に付着したダストを消す方法



微妙な回転の方法



補正ブラシ等、部分補正の方法



最後に、未補正と補正済みの比較



第6章 CameraRaw9以降の新機能の紹介

有効性の検証と共に個人的な評価も記載

(1) パノラマ画像の作成 機能



(2) HDR画像の作成



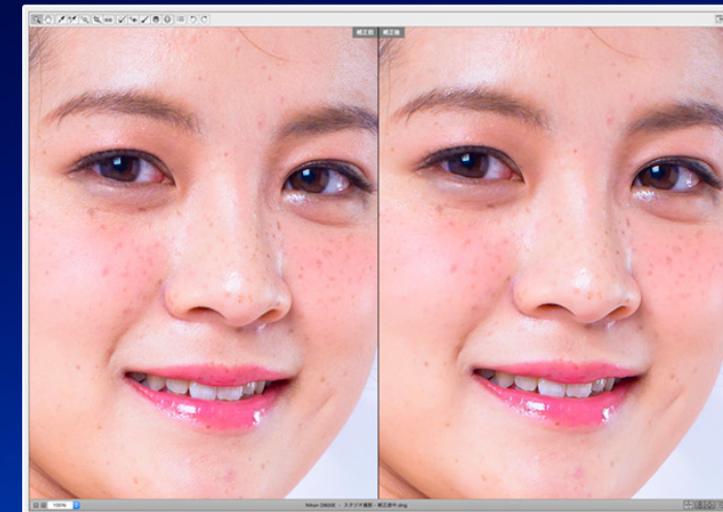
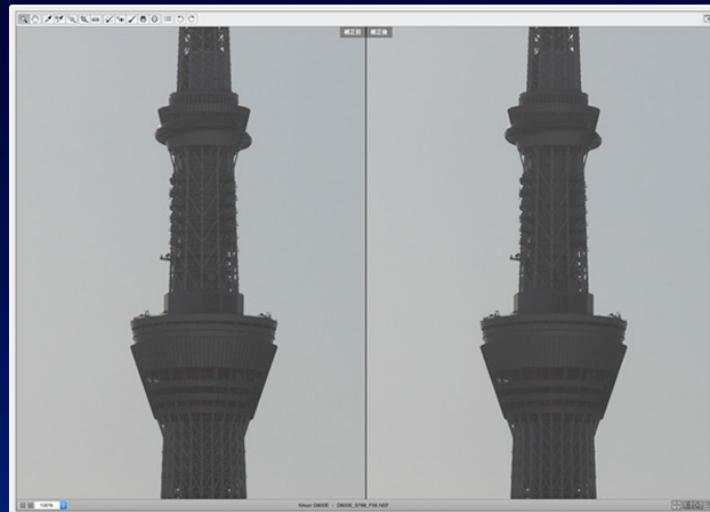
(3) かすみの除去機能



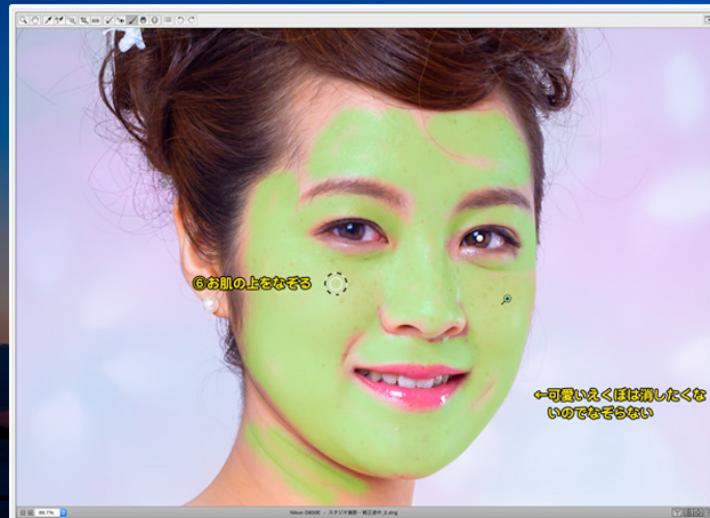
第7章 応用事例編 (全270ページ)

必須なシャープとノイズ軽減を丁寧に説明

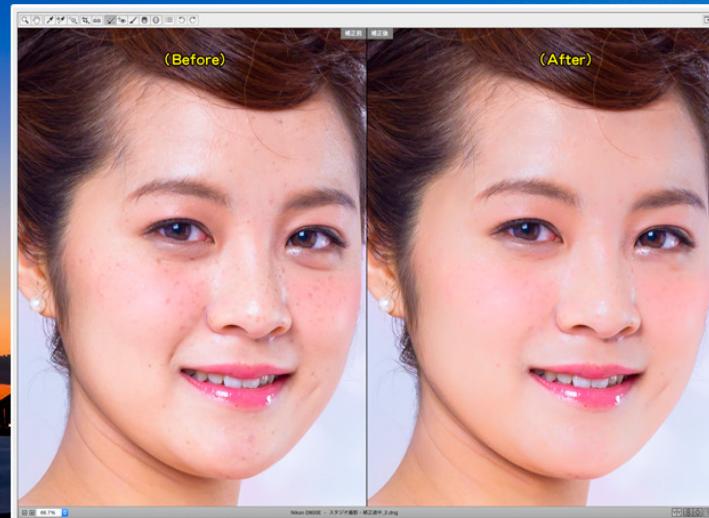
お肌の荒れも防ぎます



さらにお肌を徹底的にきれいにしてみましょう



(やり過ぎ感はあるものの・・・)

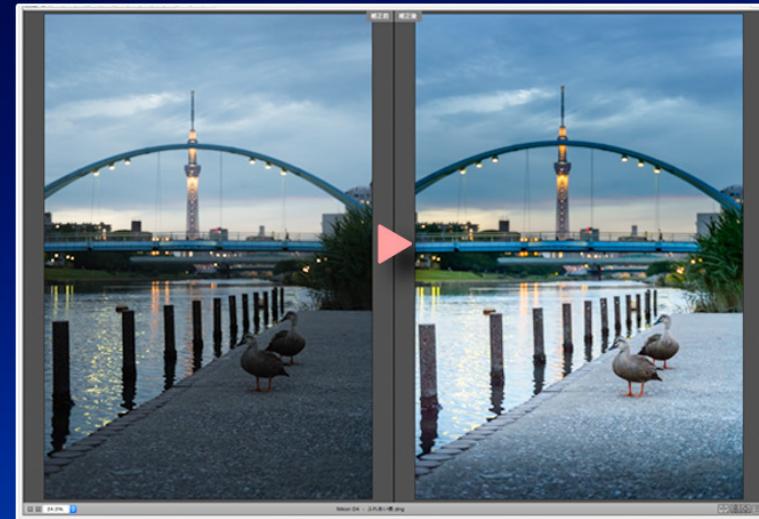


第7章 応用事例編

複数写真に付いたダストをまとめて消去



段階フィルター、円形フィルターで視線を誘導・1



段階フィルター、円形フィルターで視線を誘導・2

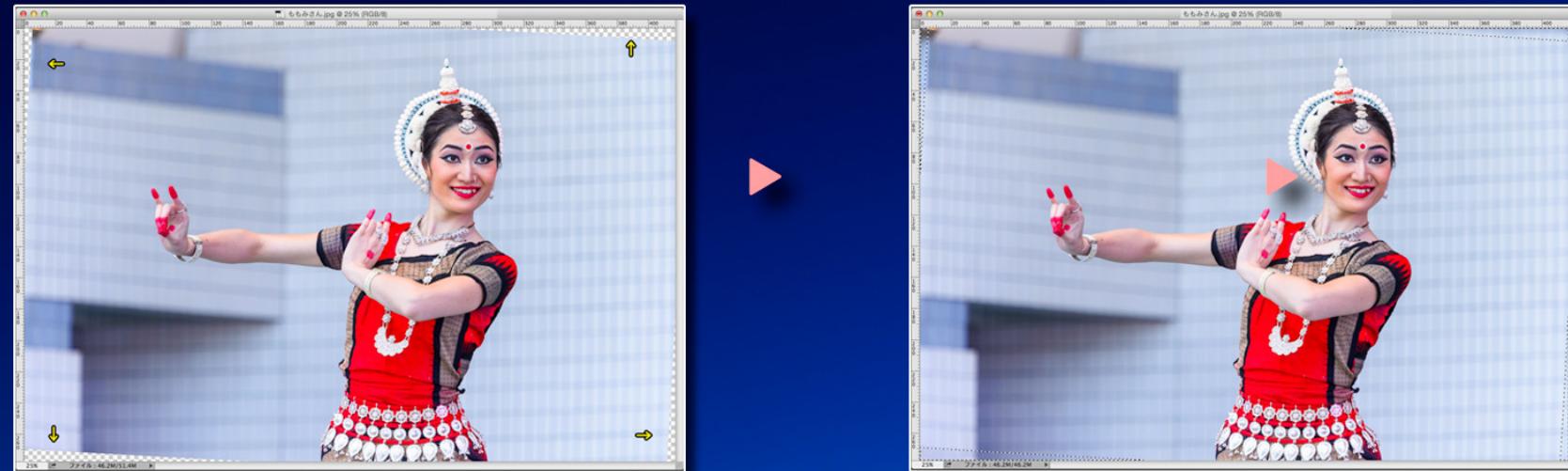


段階フィルター、円形フィルターで視線を誘導・3

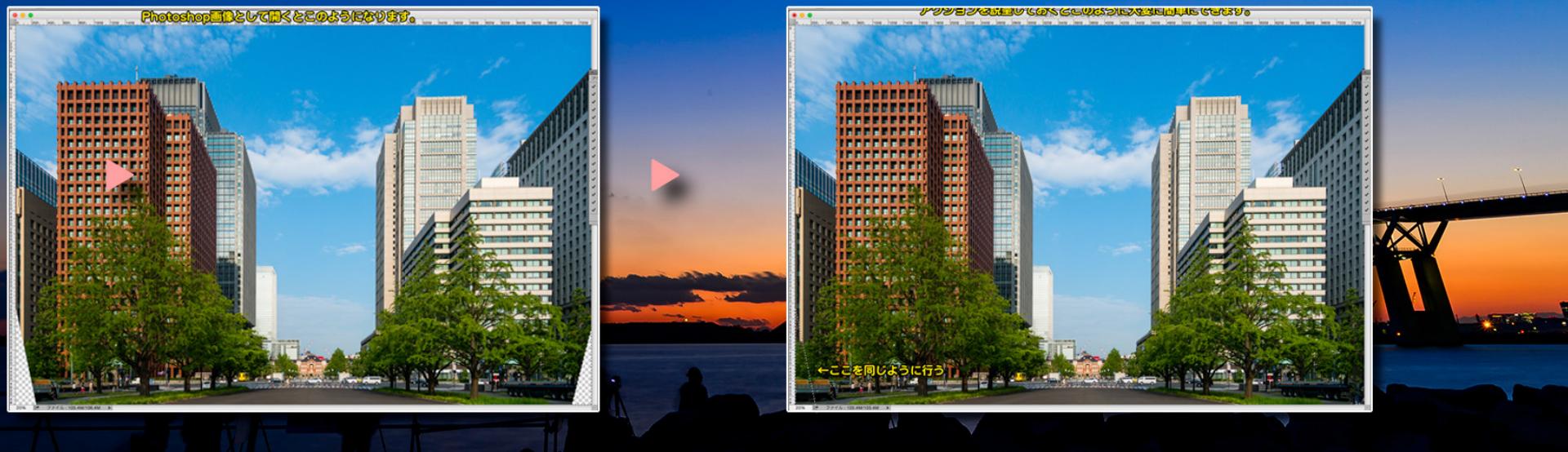


第7章 応用事例編

傾き補正で生じる空白部分をどのようにして埋めるのか・その1



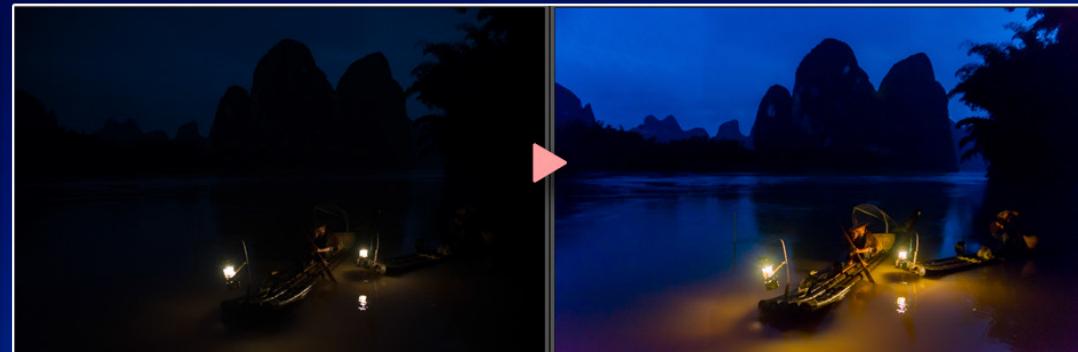
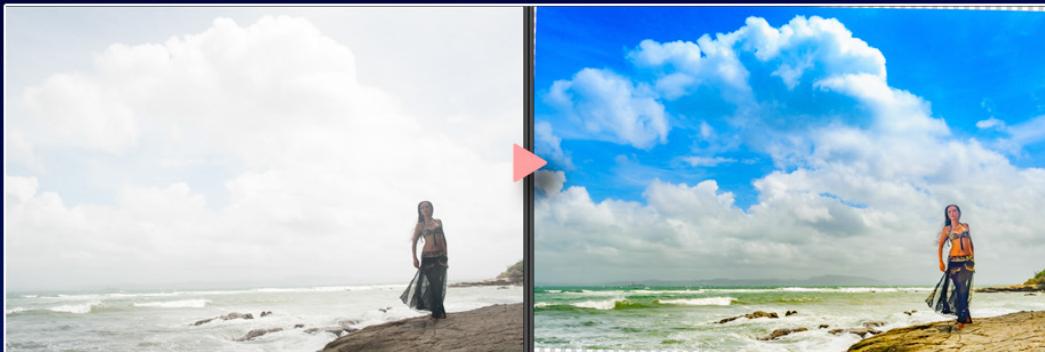
それを半自動処理するためのアクションの作り方を詳しく説明



第7章 応用事例編

殆ど露出オーバーな写真をどのように救済するか

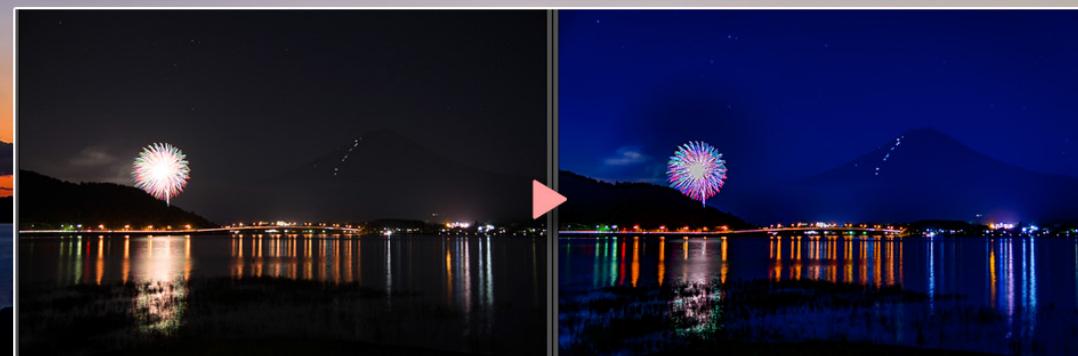
露出不足の写真を救済する



ブレ・ボケ写真はアートっぽくしてしまおう



さすがのRAWも救えない場合がある

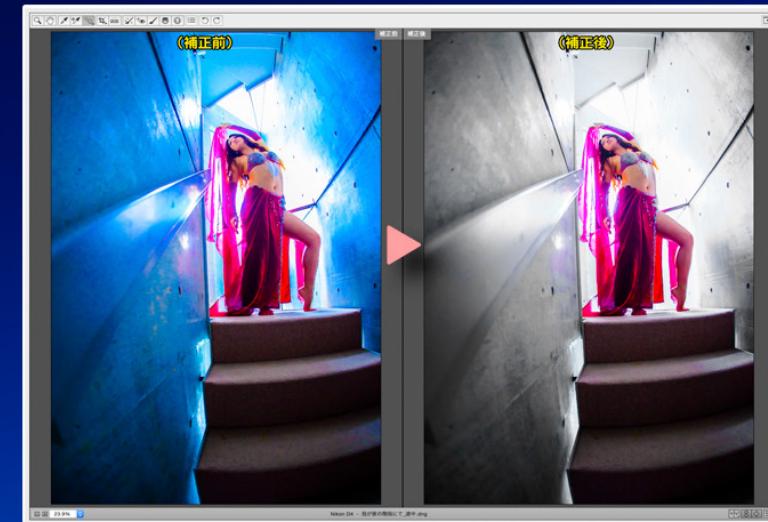


第7章 應用事例編

写真のユニカラー化



壁面の青色を一気に消し去る方法



ビビッドなRAW現像を施し、そのモノクロ化、そして明暗の補正方法



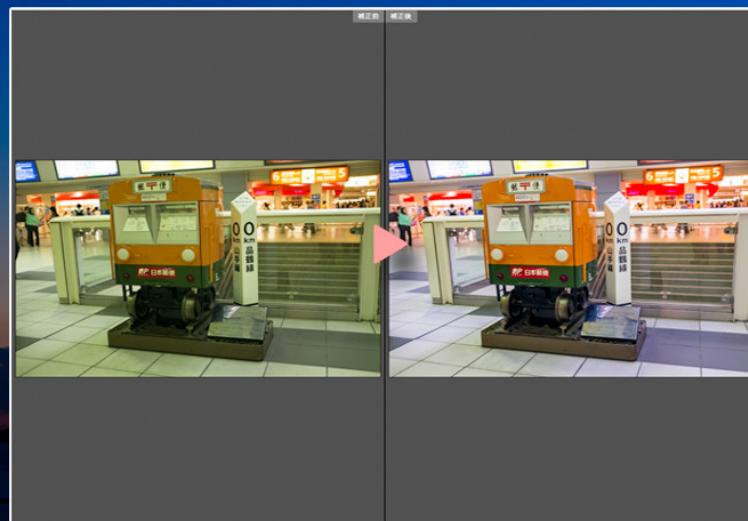
第7章 応用事例編

ホワイトバランスツールの是非・期待通りの例

同・カラーチャートは役に立つか



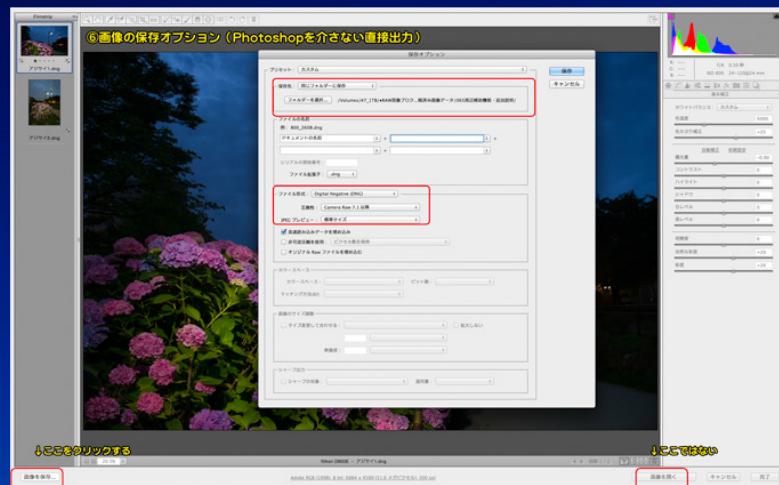
同・水銀灯下の例



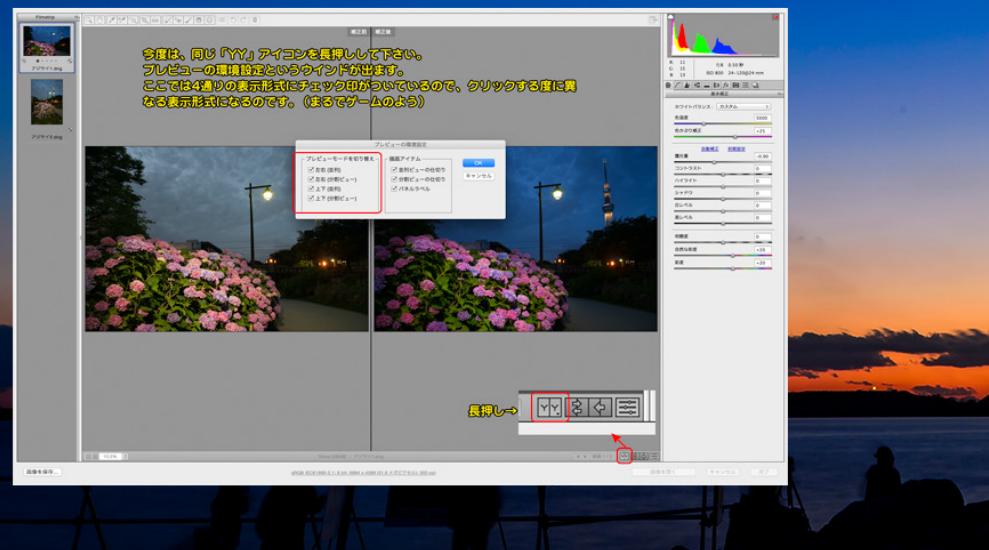
第8章 周辺補助機能（RAW現像以外の種々の機能・約20種類）

役に立つ機能・役に立たない機能、いろいろ

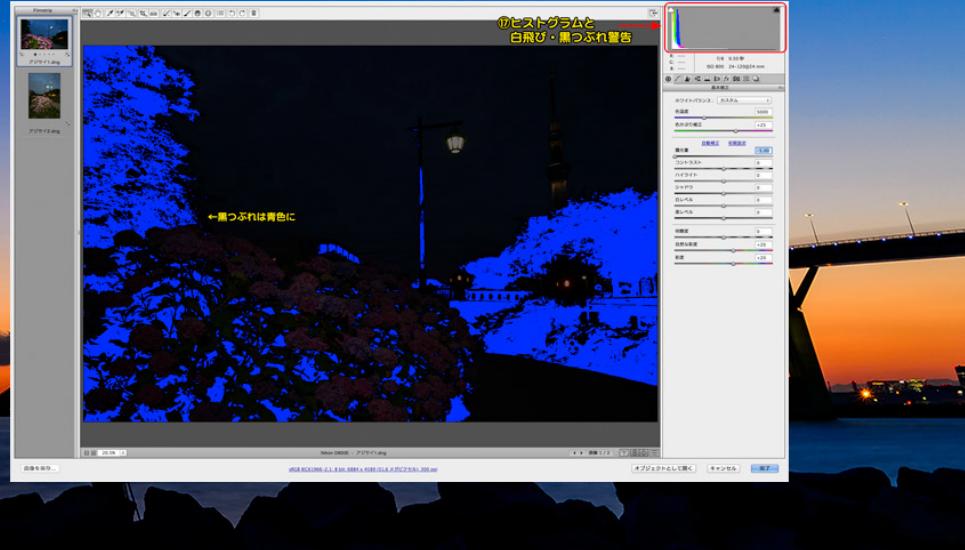
JPEG等への書き出し機能



2画面表示の設定法の詳細

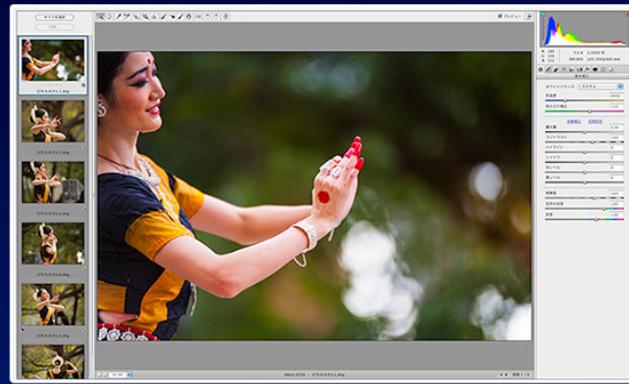


白飛び・黒つぶれ警告の表示法

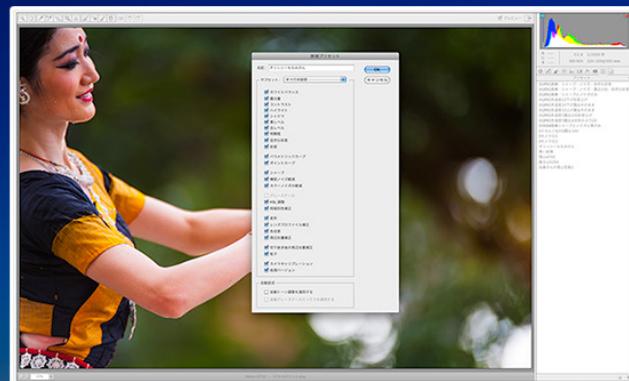
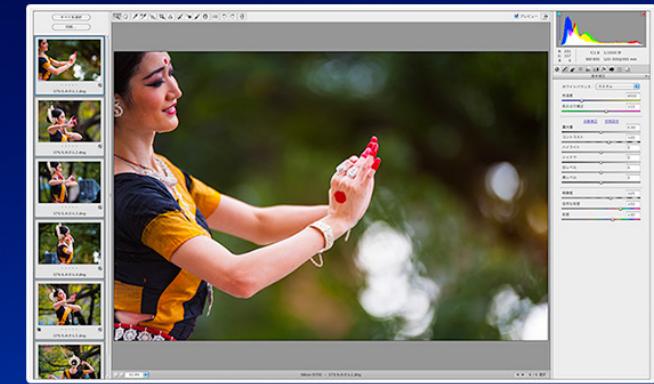


第9章 手早くRAW現像

能率良くRAW現像する、JPEGデータを作成する方法を説明します



(1) 同期



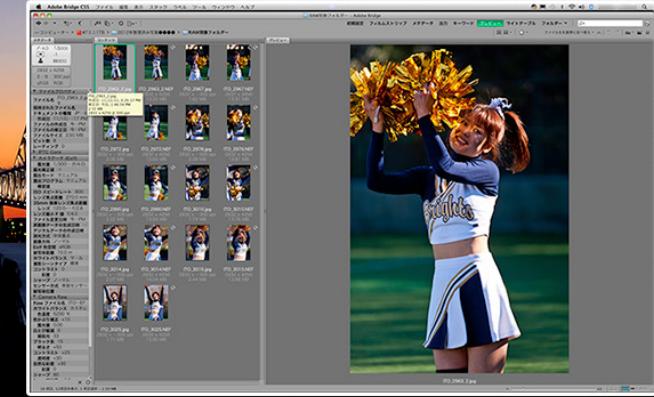
(2) プリセット

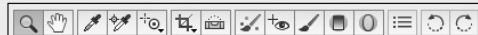


(3) まとめてRAW現像



(4) JPEGデータの一括
成のためのアクション
作成とバッチ処理
の方法





各ページの表記の例



全画面表示する方法は、右のマウスボタンを押し表示されたウインド内から、または右下の赤枠内のをクリックし表紙の中からビューサイズに合わせるを選ぶ、あるいはコマンドキー+0キーの同時押しです。



画像を保存...

Nikon D4 - ゆっくした時間_完成.dng

sRGB IEC61966-2.1; 8 bit; 4635 x 3090 (14.3 メガピクセル); 300 ppi

オブジェクトとして開く

キャンセル

完了



各ページの表記の例(抜粋)

空の青みが真夏らしくない、葉
がやや黄色いので、色温度を下
げます。
色かぶりはこのままで良さそ
うです。

と言ふことは、難しいと思つて
いた色温度+色かぶり補正が、
逆順に補正することにより、容
易になるということです。

始めにはいろいろと悩んだにも
拘わらず、結果的には色温度を
1000下げ、色かぶりはなにも
せずでした。

逆順RAW現像、大成功でした。



24.8%

Nikon D700 - ニッコウキスゲ.dng



画像を保存...

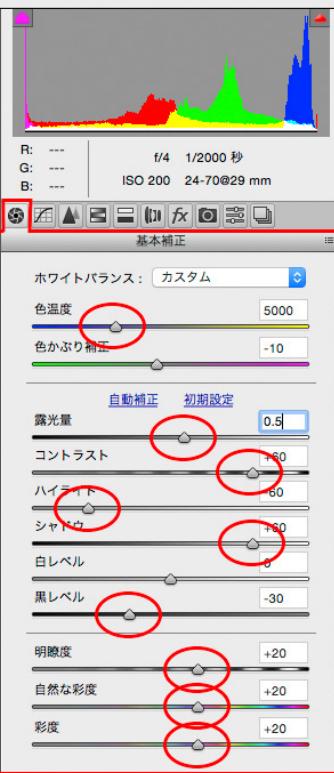
sRGB IEC61966-2.1; 8 bit; 2832 x 4256 (12.1 メガピクセル); 300 ppi

オブジェクトとして開く

キャンセル

完了

色温度6000を5000に→





←補正ブラシ

各ページの表記の例(抜粋)

女性のみ明るくするために、補正ブラシを選択し、露光量をプラスにして女性のみをなぞります。

自動マスクを有効にしておけば、はみ出しても大丈夫です(絶対ではありませんが)。

やや難しい操作ですが、補正ブラシのサイズをかなり小さくして丁寧になぞります。なぞり残しが無いようにして下さい。

露光量+1.00→



The screenshot shows the Lightroom interface with the 'Adjustments' panel open. The 'Brush' tool is selected in the top left corner of the panel. On the right, there is a histogram and various adjustment sliders. A red circle highlights the 'Exposure' slider, which is set to '+1.00'. Another red circle highlights the 'Auto Mask' checkbox, which is checked. An arrow points to the 'Auto Mask' checkbox with the text '自動マスクを有効に' (Enable Auto Mask). The top of the panel shows camera settings: f/13, 1/320 sec, ISO 400, 24-70@29 mm.

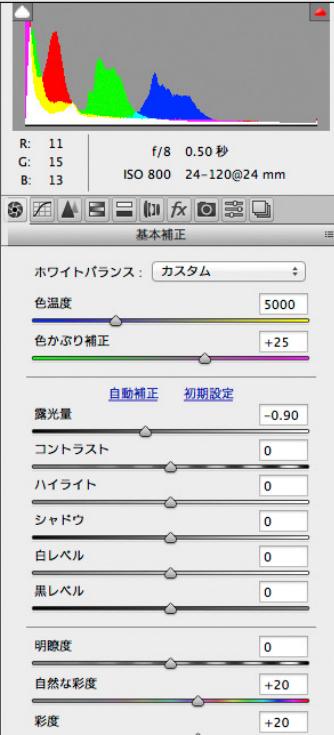
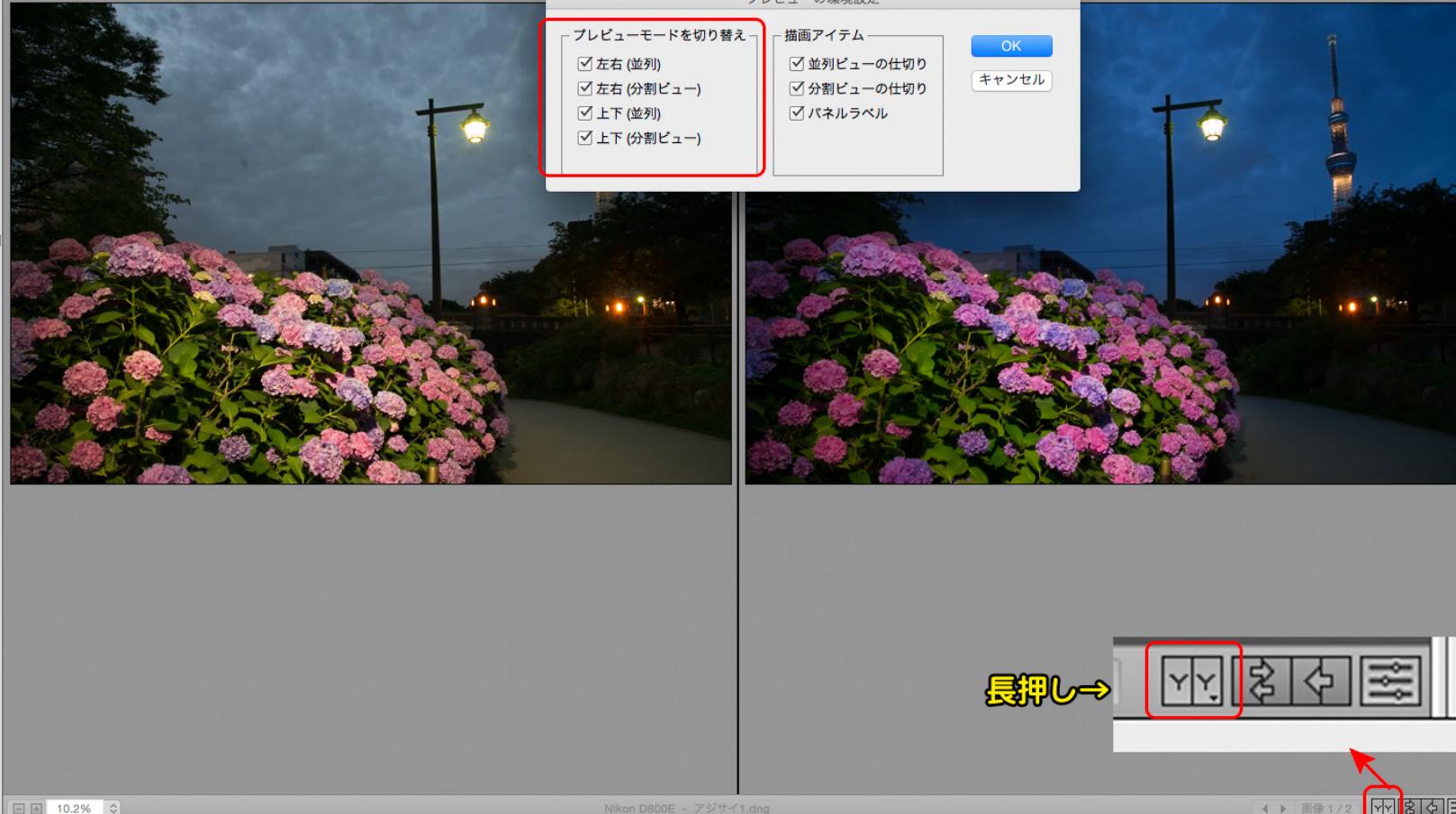




ここに赤○が表示されているときは、アクションが記録され続けていることを表しています→



アジサイ2.dng



画像を保存...

sRGB IEC61966-2.1; 8 bit; 6884 x 4589 (31.6 メガピクセル); 300 ppi

画像を開く

キャンセル

完了

(1) 同期処理 各ページの表記の例(抜粋)

1枚目はRAW現像済みで、他は未済みです。
(同期とは、あるRAW現像の補正内容にて、
他の画像をRAW現像すること)



(サンプルデータは、インド舞踊家1.dngからインド舞踊家6.dngの6枚)

Nikon D700 - インド舞踊家1.dng

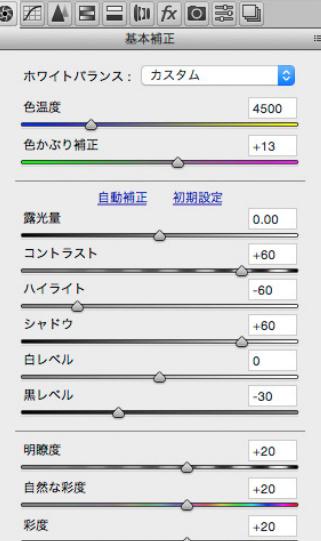
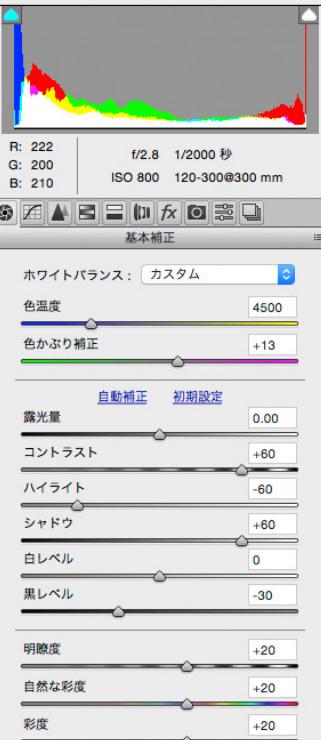
画像を保存...

sRGB IEC61966-2.1; 8 bit; 4256 x 2832 (12.1 メガピクセル); 300 ppi

オブジェクトとして開く

キャンセル

完了



各ページの表記の例（抜粋）

↓2012年7月にCameraRaw7でRAW現像

●進化に期待しよう

RAW現像ソフトは少しずつ進歩しています。自身の経験やスキルも蓄積されるでしょう。RAWの特性の一つには、いつでも元に戻せる、やり直しができるということがあります。暫くの時が経ってからもう一度RAW現像し直してみませんか。

↓2011年9月に撮影



↓2015年7月にCameraRaw9.1でRAW現像



●本解説書の内容

本解説書には、下記の内容が含まれています。

①解説書本文

PDFデータにて構成されています。

②サンプルデータ集

本解説書に限って使用するRAW画像データです（約6GBあります）。

RAWのデータ形式は、アドビ社推奨の.DNG形式、及びカメラメーカー固有のデータ形式となっています。

③プリセット

本解説書中にて作成するプリセットです。もしもその作成方法がお分かりにならない場合は、添付のプリセットをご使用下さい。

プリセットのコピー方法については、第3章をご覧下さい。

④「始めにお読み下さい」のテキストデータ

●ご注意・お願ひ

①本解説書は、Adobe Photoshop CC 2015、これに添付されている Bridge CC、及び Camera Raw を使用することを前提としています。従つて、予めアドビ社のクリエイティブクラウドに参加する、または同上のお試し版をご自身のパソコンにダウンロードしてください。

②本解説書に添付されたサンプル写真の画像データの使用用途は、RAW現像を習得するためのみとします。もしもこれを他の用途にご使用になられる場合、本解説書の内容を転用・転載される場合は著者に必ず事前にご通知下さり、著者の許諾を得た後にそれらを実施して下さい。そうでない場合は、根拠を証明すること無く損害賠償の対象となる場合があります。

問い合わせ先→itohikaruphoto@gmail.com

③本解説書の内容は、著者自身の試行錯誤により制作したものですから、もしかしたら理解が足りない部分があるかもしれません。それに起因したいかなる損害が生じたとしても著者はこれを賠償することはできません。

④そもそも Camera Raw にはパソコンとカメラを直結する機能、少し違いの画像を同時に作成・表示し第三者の判断を仰ぐという機能がありません。その必要がある場合は、他の RAW 現像ソフトをご使用下さい。